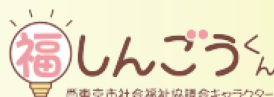


— みんなですすめる計画 —

～住みなれた地域で住み続けるために～

第三次西東京市地域福祉活動計画

〈平成 26 年度～30 年度〉



社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会

はじめに

西東京市社会福祉協議会では、第三次西東京市地域福祉活動計画策定委員会を設置し、継続して「一人ひとりの個性をいかし、ともに支え合い、みんなでつくる私たちのまち」づくりをめざす計画を策定するため、地域住民・当事者をはじめ、地域において地域活動を行う多様な関係団体、機関等に呼びかけました。

本計画は、第二次西東京市地域福祉活動計画の具現化として着手した地域福祉コーディネーター事業などの取り組みから、地域の課題を分析し、市民の誰もが地域で安心して暮らすことができるまちの実現のために策定した計画であると考えます。

特に、「自分たちのまちをどのようなまちにしていきたいのか」の視点で、市民ができること、社協が担うこと、そして行政に期待することを掲げています。さらに本計画は、市民を中心に、地域福祉を推進するさまざまな関係者との役割分担を確認し合い、できるだけ具体的な取り組みを示した計画として整理しました。

人は、安心できる場所で輝く、その安心は、一人ひとりが大切にされることから生まれると思います。この計画が実を結ぶことはもとより、西東京市社協が今後市民のゆめの実現になくてはならない存在になるべく、前進していくことを強く願います。

最後に、本計画の策定にあたりましては、地域を思う深い考えと熱意のある策定委員会委員の皆さまに情熱を持ったご討議、ご提言をいただきましたことに敬意と感謝を申しあげます。また、住み慣れた地域で住み続けるための計画の推進に向けて、共に歩んでいただけるよう皆さまのご理解とご協力をお願い申しあげます。

平成 26 年 3 月

社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会
会長 村田利夫

1. 計画の位置づけ

1) 計画の目的

地域の中で生涯にわたって自立し、安心して生活できる地域社会を実現していくことは市民すべての願いです。そのためには、市民一人ひとりが、日ごろから人と人との絆を大切にしながら、お互いに自発的に支え合い、助け合っていくことが大切です。

第三次西東京市地域福祉活動計画では、市民参加が不可欠な「共助」の取り組みについて、特に重点的に取り組むべきテーマ・実現方策に絞って取りあげました。そして、地域福祉活動の推進のための取り組み方策、及び市民が取り組む方向性を整理しています。

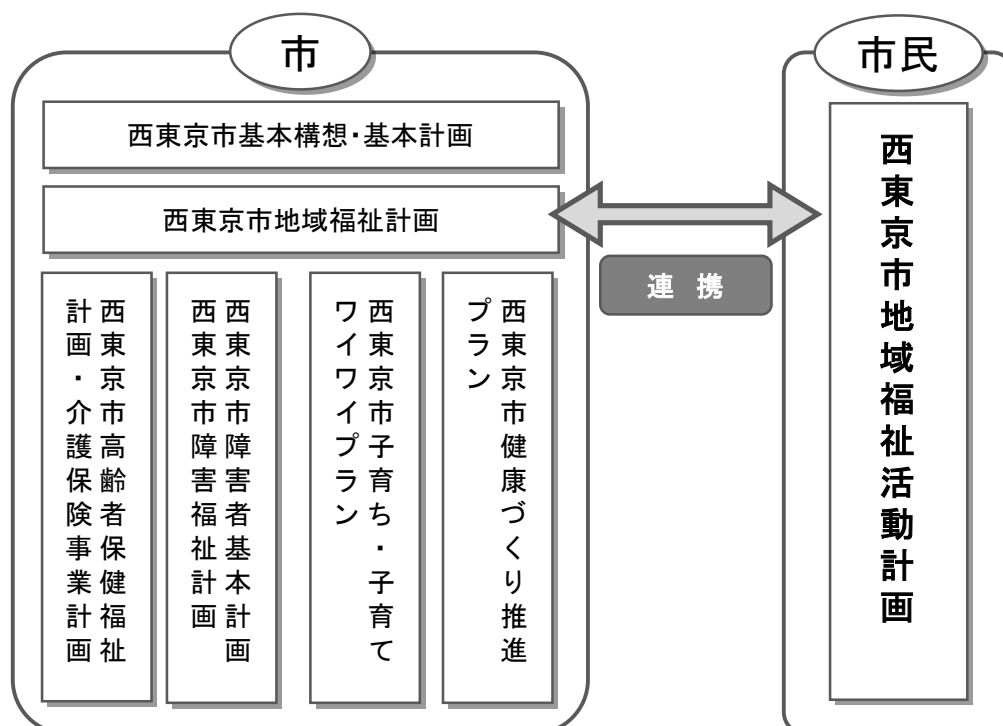


2) 計画の位置づけ

本計画は、子どもから高齢者まで市民が抱えるさまざまな生活課題や地域における福祉課題を解決するための方向性を、市民を中心として定めた活動・行動計画です。

そして、地域福祉を推進するための「理念」と「しくみ」をつくり、実践するための計画です。すなわち、生活課題や地域における福祉課題を解決するための「基本目標」を定め、一人ひとりの市民、活動団体、事業所、福祉・保健施設、行政、社会福祉協議会等が、それぞれの役割のなかでお互いに力を合わせる関係をつくり、地域で支え合い、助け合う「共助」を中心に「自助」「公助」を重層的に組み合わせた「地域ぐるみの福祉」を推進するための計画です。

そして、西東京市が策定している地域福祉に関する計画である「第三次西東京市地域福祉計画」と、この「西東京市地域福祉活動計画」は、同じ地域の福祉を推進していく計画として、相互に連携を図りながら、同じ方向を歩んでいきます。



3) 計画の期間

計画の期間は、平成 26 年度～30 年度までの 5 年間となります。

なお、社会情勢等の変化による地域の状況を見ながら随時、柔軟に見直しを図ります。

年度 計画名称	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
西東京市 地域福祉活動計画		【第二次】					【第三次】			
西東京市 地域福祉計画		【第2期】					【第3期】			

 本計画の期間

第二次西東京市地域福祉活動計画は、福祉課題の解決をめざして、住民や団体の行う活動と、その活動を推進していくための社会福祉協議会の事業についてまとめました。

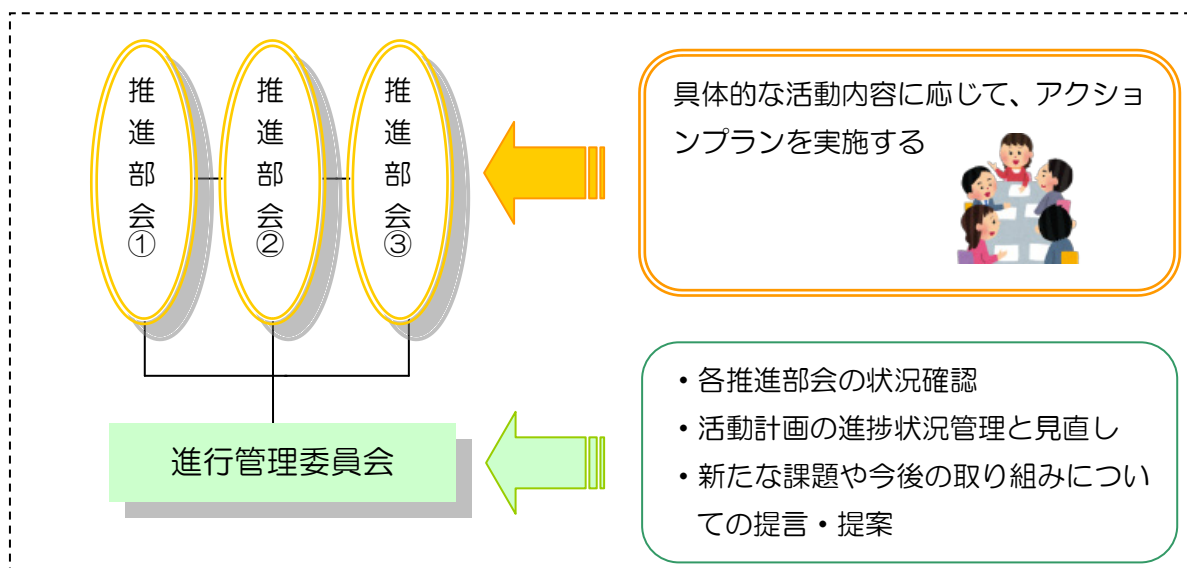
今回の第三次西東京市地域福祉活動計画の内容は、福祉課題の解決をめざして、住民や団体の行う活動を中心にまとめたものです。

4) 計画の推進体制

第三次西東京市地域福祉活動計画は、市民の皆さまの声・意見・熱意を基に、共に策定に向けて取り組んできました。そして策定後の実現のために、既存のふれあいのまちづくり事業住民懇談会、ほっとネット推進員、民生委員・児童委員、関係機関、団体等と連携を図りながら、以下のような推進体制をすすめていくことを考えています。

この計画を実現していくために具体的な活動内容に応じた推進部会を設置し、具体的活動の検討・実施をめざします。

また、西東京市地域福祉活動計画進行管理委員会では、地域福祉活動計画の進捗状況を評価し、必要に応じて見直しを行い、新たな課題や今後の取り組みについて提言・提案します。

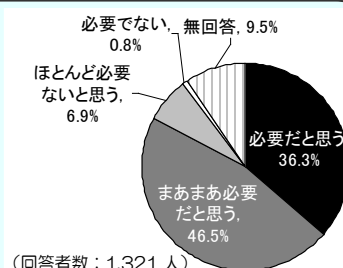


2. 計画策定にあたってあげられた地域の課題

統計データ・アンケート・市民懇談会等の調査を踏まえた委員会での検討の結果、以下のような課題が明らかになりました。（※詳細は「7. 資料編」（20p～）を参照ください）

市内の統計データ等（抜粋）

- 人口・世帯数ともに、緩やかに増加している
- 1世帯あたりの人数が、減っている
- 高齢者のみの世帯や障がい者が、増えている
- 地域の人との付き合いや関わり：82.8%が「必要」と回答



（回答者数：1,321人）

イベント等でのアンケート結果（抜粋）

■ 自分の得意分野を活かして、地域で出番をつくりたい

■ 子どもから大人まで挨拶を交わせるようなまちづくりが必要

■ 必要な時に助け合えるとよい

■ 誰でも集まれる居場所が増えるとよい

■ すぐに相談出来る人や、身近な情報があることが重要



市民懇談会の結果（抜粋）

■ 普段交流がない近所と、つながるきっかけが少ない

■ 活動している人同士が交流できる機会が十分でない

■ 地域のつながりがないと、さまざまな地域の情報が入ってこない



各種調査結果を踏まえ、委員会で出された課題

「一人ひとりの問題を、みんなの問題としてとらえる」

- 子育て・介護・地域での孤立など、地域生活でのさまざまな課題を、個人の問題ではなく、地域みんなの課題としてとらえる必要がある

「一人ひとりが主役になれる“場”が必要」

- 地域に住む一人ひとりが、年代や性別・高齢や障がい等に関わらず、地域の主役として輝ける場（機会）が重要である

「“おたがいさま”の気持ちを大切に」

- 地域のご近所同士で、お互いに見守り・支え合う「おたがいさま」の気持ちを育むことが大切になる

3. 計画の基本理念・基本目標

1) 基本理念・基本目標

地域の中で生涯にわたって自立し、安心して生活できる地域社会を実現していくことは市民すべての願いです。そのためには、市民一人ひとりが、日ごろから人と人との絆を大切にしながら、お互いに自発的に支え合い、助け合っていくことが大切です。

この計画は、次の基本理念と基本目標のもと、市民の誰もが地域で安心して暮らすことのできるまちの実現をめざします。

【基本理念】一人ひとりの個性をいかし、ともに支え合い、

みんなでつくる私たちのまち

～住みなれた地域で住み続けるために～



【基本目標】

【1】 一人ひとりがイキイキできるまち
～輝こう スキップしよう！～



【2】 “おたがいさま” が活きているまち



【3】 家族のようなつながりがあるまち



【4】 みんな笑顔でくらせるまち

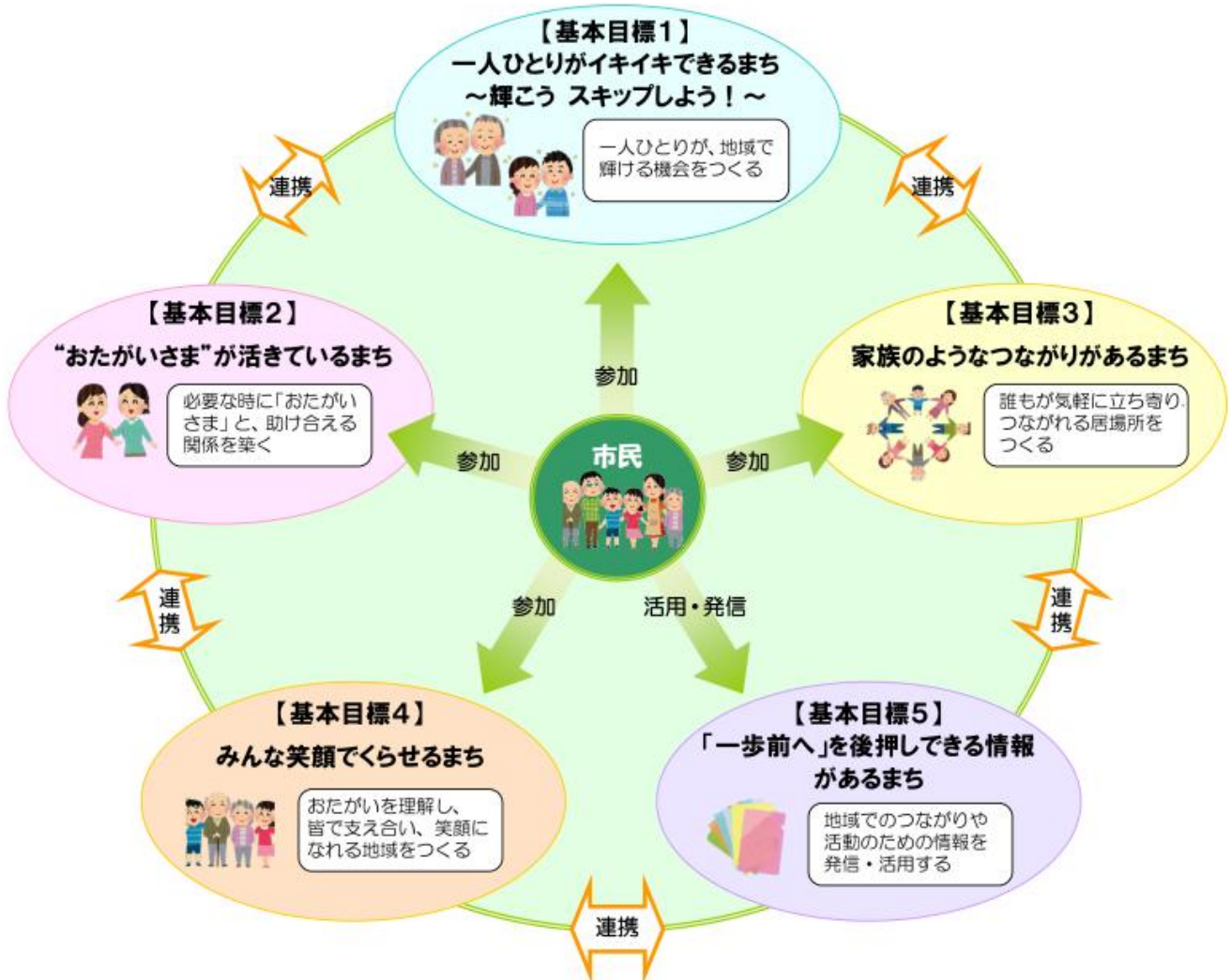


【5】 「一歩前へ」を後押しできる情報があるまち



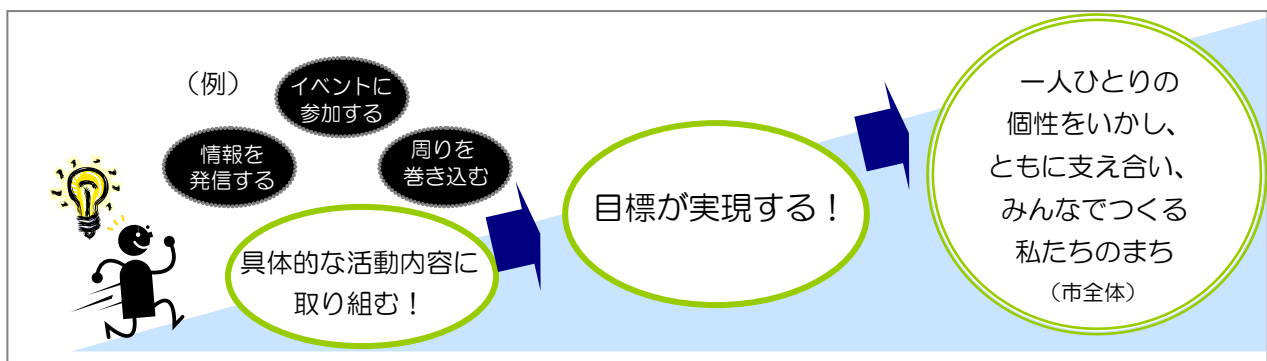
2) 計画の主な取り組み見取り図

計画では、市民が中心となり、各基本目標に取り組むことで、基本理念である「一人ひとりの個性をいかし、ともに支え合い、みんなでつくる私たちのまち」を実現することをめざします。
また、それぞれの基本目標は、相互に連携し合っています。



3) 計画の方向性

市民それぞれが地域の中で自分のできる・したいと思う「具体的な活動内容」に取り組むことで、計画のめざす「基本目標」が実現し、市全体が「一人ひとりの個性をいかし、ともに支え合い、みんなでつくる私たちのまち」になることをめざしていきます。



4. 計画の体系

1) 基本目標・具体的取り組み

課題を踏まえ、「基本理念」「基本目標」「具体的取り組み」を以下のように掲げます。

【基本理念】

一人ひとりの個性をいかし、ともに支え合い、
みんなでつくる私たちのまち
～住みなれた地域で住み続けるために～



基本目標

具体的取り組み

【1】一人ひとりがイキイキできるまち ～輝こう スキップしよう！～

地域で活躍できる機会をつくることで、一人ひとりがイキイキと輝くことができます！



人が認められる場をつくる

【2】“おたがいさま”が活きているまち

「おたがいさま」の気持ちを持つことで、互いに助け合える関係を築くことができます！



楽しく教えたり、教わったりすることで世代間の交流のきっかけをつくる

【3】家族のようなつながりがあるまち

誰もが気軽に立ち寄れる居場所をつくることで、さらに住みやすい地域になります！



人を思いやる気持ちをもてる人を増やす

【4】みんな笑顔でくらせるまち

おたがいを理解することで、何かあっても皆で支え合える地域となり、皆の笑顔があふれます！



一緒に活動できる機会をつくる

【5】「一歩前へ」を後押しできる情報があるまち

さらに活動したい、支援してほしい等の時、次のアクションにつなげられる情報があります！



情報が自然と入ってくるしくみをつくる

2) 具体的な活動内容

「基本理念」「基本目標」等を踏まえ、「具体的な活動内容」を以下のように掲げます。

【具体的な活動内容】とは…

基本理念・基本目標を実現するために、
具体的にどのような活動に取り組むかを示しています



具体的な活動内容

人の良いところを見つける活動をする

(→8p 参照)

がんばるきっかけになるような機会、
誰もがみんなに認められ、自分を評価
できる場をつくりましょう



“地域スカウトキャラバン”を
つくる

(→9p 参照)

地域の中にいる特技や知識を持った
人を発掘しましょう



さまざまな交流のきっかけをつくる
(→10p 参照)

地域の人材を活用し、さまざまな
交流のイベントを開催しましょう



必要な情報を集め・広める
(→11p 参照)

自分達の身近な生活にあった情報を
自ら動き・広めましょう



一緒に活動できる機会をつくる
(→12p 参照)

さまざまな人が交流できるようなイ
ベントの実現に向けて、企画・運営を
自ら考える機会をつくりましょう



誰もが立ち寄れる雰囲気のある
居場所をつくる

(→13p 参照)

気軽に参加できる場所、住民同士で
話し合い解決につなげるような場所
をつくりましょう



アナログな情報（回覧板・掲示板等）
を再活用する

(→14p 参照)

回覧板を回したくなるようなしくみ
等を検討・実現しましょう



デジタルな伝達手段を活用する
(→15p 参照)

デジタルな情報を必要とする市民の
ニーズを把握し、伝達手段を検討し
ましょう



5. 取り組みごとの紹介

具体的な活動内容

人の良いところを見つける活動をする

～人が認められる場所をつくる～

■日常の小さな善意を見つけ出し、それを輝かせる場をつくります



イメージ写真例

西東京市民まつり

「福しんごうくとパレード」

これからの進め方

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アクション プラン	・企画する ・人情報を 収集する	イベント に参加 (1 箇所)	考察 検討	ノウハウ の蓄積	30年度～ 市全体に 広がる
目標（値）	・探す人を 集める	イベントの中で対象になる人を探す プログラムを展開			

（※ = 取り組み内容 = 目標）

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	- 対象になる人をさがす - 対象になる人を紹介する（他己紹介） - 企画に参加をする 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	- 市民から紹介をされた、対象になる人の情報を活かす - 社協だよりやHPで活動を広める - 社協が行うイベントを活用して、活動をサポートする
市	期待すること	人材の活用

具体的な活動内容

“地域スカウトキャラバン”をつくる

～楽しく教えたり、教わったりするきっかけをつくる～

- “互いに頼みやすい” 雰囲気をつくるために、地域の中にいる特技や知識を持った人を発掘します



イメージ写真例

ふれあいのまちづくり

「革細工に挑戦！素敵なしおりができました」



これからの進め方

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アクションプラン	【前半】 ・計画周知 ・活動者募集 【後半】 ・人材選定 ・活動ルールを決める	モデル事業を実施し、成功させる	企画実施報告する		・継続実施をする ・別の地域でも行う
目標（値）		市内で5人以上			

（※ = 取り組み内容 = 目標）

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	・特技や知識や経験をもっている人を推薦する 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	・名簿をまとめる ・参加者を募り、イベントを行う
市	期待すること	・市報等での広報

具体的な活動内容

さまざまな交流のきっかけをつくる

～例えばうどんづくり・ケン玉などを通して、さまざまな交流の機会をつくる～

■地域の中から発掘した特技や知識を持った人を活用し、さまざまな交流のイベントを開催し、市民に向けたモデルの一つとします



イメージ写真例

ふれあいのまちづくり
「フラダンスのグループと。私も一緒に踊ろうかしら？」

これからの進め方

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アクションプラン	※「地域スカウトキャラバン」による、さまざまな交流のきっかけをつくるための ・人材の発掘 ・成功モデルの実施 ・振り返り・再試行		企画実施報告する	→	・継続実施をする ・別の地域でも行う
目標（値）			2～3 地域		

(※ = 取り組み内容 = 目標)

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	・イベントに参加する、周りを巻き込む ・身近な人と交流イベントを行う（交流の手段はさまざま！） 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	・場の確保や運営のサポート 行う場面（時期・場所や人材等）の設定や運営をサポートする 小地域から活動を展開するために、ふれまちと連携する
市	期待すること	・場所に関する情報提供

具体的な活動内容

必要な情報を集め・広める

～例えば「防災マップ」など、地域で安心していきいきと生活するために、必要な情報を集め、広める～

■自分達の身近な生活にあった情報を自ら動き、広めることで、市民に向けたモデルの一つとします



イメージ写真例

ふれあいのまちづくり

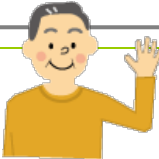
「いざという時に困らないために、地域を知っておこう」

これからの進め方

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アクションプラン	※「地域スカウトキャラバン」による、防災マップづくりのための ・人材の発掘 ・成功モデルの実施 ・振り返り・再試行		企画実施報告する	・継続実施をする ・別の地域でも行う	
目標（値）			2～3箇所		

(※ = 取り組み内容 = 目標)

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	・企画に参加する、周りを巻き込む ・身近な人とのマップづくりを行う（マップの内容はさまざま！） 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	・（情報収集の対象となる）地域を設定する
市	期待すること	・必要な情報の周知（例）防災に関する市の取り組み ・情報の提供（地図データ等）

具体的な活動内容

一緒に活動できる機会をつくる

～交流イベントが実現できるように、アイディアを出すための話し合いを開く～

- さまざまな人が交流できるようなイベントの実現に向けて、企画・運営できる機会をつくれます



イメージ写真例

ふれあいのまちづくり
「フリーマーケット。何か掘り出しものはないかな？」

これからの進め方

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
アクションプラン	【前半】 現状イベントの洗い出し、見学 【後半】 団体リストづくり、リーダーになるための講座開催	話し合いの会をつくる 交流イベント企画に向けた話し合いの場をつくり、実施	情報発信 交流イベントの宣伝		交流イベントの実施
目標（値）	イベントの見学リストづくり	話し合いの会発足	広報活動	（仮称）地域活動フェスタの実施	

（※ = 取り組み内容 = 目標）

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	・ いろいろな交流イベントに参加する（参加の仕方はさまざま！） ・ アイディア出しの話し合いの場に参加する 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	・ 団体リストづくり等の支援を行う ・ 関係者、関係団体への参加を呼びかける
市	期待すること	・ イベントの共催 ・ 幅広い分野の部署から交流イベントへ参加 ・ 市の計画関係者への参加の呼びかけ

具体的な活動内容

誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる

～人を思いやれる気持ちの持てる人を増やす～

■地域の中でのさまざまなイベントが実施され、顔見知りやつながりをつくる場は増えています。しかし、そのような場に参加できない人も多く、また、住民同士で話し合い、解決につなげるような場も求められています



イメージ写真例

ふれあいのまちづくり

「ご近所の方と交流、いろいろな世代の方が集まりました」

これからの進め方

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アクション プラン	・企画をする ・4 圏域の中から 実施エリアを 決める ・情報を集める ・実施する	考察 検討 活動者を 増やす	リーダーを 育成する		全市展開
目標（値）	1 拠点		4 拠点		8 拠点

（※ = 取り組み内容 = 目標）

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	- 人に声をかけて、誘う - 人の良いところを見つける - 活動に参加をする 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	- 社協の中でプロジェクトをつくる - 社協だよりで、場所の提供者や人を募集する - 活動をサポートする
市	期待すること	場所に関する情報提供

具体的な活動内容

アナログな情報（回覧板・掲示板等）を再活用する

～一人ひとりがいきいきと地域で生活するために、
回覧板・掲示板等の見直しを行い、再活用する～

■回覧板を回したくなるようなしくみ等を検討し、実施することで、情報が自然と届く地域のつながりづくりをめざします



イメージ写真例
ふれあいのまちづくり
「掲示板で地域の情報を
伝えます」

これからの進め方

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アクション プラン	【前半】 ・検討する会をつくる ・現状を把握する 【後半】 ・関係団体の整理 ・関係団体へ依頼	企画準備 ・回覧板等の 運営方法に 関する検討	企画実施 ・掲載内容の検討 ・モデル地域選定 ・回覧板コンテ ストの実施	普及・継続実施 プロジェクトリ ーダー養成 回覧板の見守り を行う人の選任	
目標（値）	検討する会 の立ち上げ	検討会を 開催運営 する	モデル地区選定 回覧板コンテストの実施		

（※ = 取り組み内容 = 目標）

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	・回覧板作成班（仮称）へ協力参加する ・回覧板協力員になる ・大学生の協力をもらう 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	・関係団体（商工会等）へ特典等を働きかける ・協力員を募集する ・回覧板等の運用に向けた情報収集（仕分け）と掲載情報の発信をする
市	期待すること	・「回覧板復活」に向けた支援 （例）免税クーポンの検討など ・活動実施に係る全面的な後援及び共催 ・回覧板実施をPR

具体的な活動内容

デジタルな伝達手段を活用する

～デジタルになじみのある人が情報で横につながるために、
ニーズに適った伝達手段を活用する～

■デジタルな情報を必要とする市民のニーズ把握を行うとともに、デジタルな伝達手段の活用を検討し、情報を届けます



イメージ写真例
「西東京市社会福祉協議会」
HP上で「ファミリー・サポート・センター」
に関するページ

これからの進め方

	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
アクション プラン	市民参加の 検討会の 開催	現状の把握 ・デジタル媒体、 活用方法の検討 ・既存調査の活用 ・現状媒体の 調査実施		企画準備 ・広報、普及 等に関する 検討	企画実施 検討結果を基 に情報媒体の 活用、広報メ ディアのネット ワークをつ くる
目標（値）	検討会を 開催する	現状を把握する 現状媒体の調査実施		広報、普及 等に関する 検討	広報メディ アのネット ワークを つくる

（※ = 取り組み内容 = 目標）

あなたができること、
したいことは何でしょう？

市民	 できること	・市民参加型の会で意見を述べる ・大学生の協力をもらう ・多くの市民が情報を得られるように、お互いに声かけをする 「私ができること・したいこと」は……
社協	担うこと	・企業や関係団体等へ参入を働きかける ・ホームページを活用してPRをする
市	期待すること	・関係団体への働きかけ ・市報等での広報

6. 策定の経緯

1) 策定の経緯



●第三次西東京市地域福祉活動計画策定委員会 検討経過

回	開催年月日	主な議事内容
1	平成25年1月29日	① 趣旨説明 ② 基調講演「第三次西東京市地域福祉活動計画策定にあたって」 ③ 委員による意見交換
2	2月21日	① 前計画 第二次西東京市地域福祉活動計画の視点 ② 事業評価に関連して主要事業の説明 ③ 過年度事業評価について
3	3月28日	① 平成21～23年度の主要取り組み事業の数値評価について ② グループワーク テーマ【地域（市内）における生活課題】
4	4月30日	① 第三次西東京市地域福祉活動計画策定にあたって ② ニーズ調査項目について
5	5月28日	① 第三次西東京市地域福祉活動計画の位置づけについて
6	6月25日	① 基本理念について ② 成果物のイメージ ③ 社会福祉協議会の取り組みから見えてきた課題 ④ グループワーク「西東京市の現状と地域課題の確認」 テーマ【地域の問題点・解決のアイディアの検討】
7	7月30日	① グループワーク テーマ【地域の問題点・解決のアイディアの検討】 ② ニーズ把握の内容と実施時期について
8	8月27日	① 既存の調査からの報告（「西東京市地域福祉に関するアンケート調査結果報告書」・「西東京市高齢者生活状況調査報告書」） ② 民生委員による報告 ③ グループワーク テーマ【基本目標の決定】
9	9月24日	① 既存の調査からの報告（「第3期西東京市障害福祉計画」） ② 第三次西東京市地域福祉活動計画の全体像と実行計画における調査実施のイメージについて ③ 基本目標の確認 ④ グループワーク テーマ【具体的取り組み（項目）の検討】
10	10月29日	① 基本目標について ② 市民懇談会等について ③ グループワーク テーマ【基本目標のポイントの検討】
11	11月26日	① 今後の検討の流れ ② 第三次西東京市地域福祉活動計画の体系（案） ③ グループワーク テーマ【具体的取り組みについて】 ④ 策定委員にお願いするアンケートについて（案）

回	開催年月日	主な議事内容
12	12月26日	① 第3期西東京市地域福祉計画の策定状況について ② 各種ヒアリングの意見集約等について ・イベントの際の聞き取り調査結果 ・策定委員によるアンケートについて ・ふれあいのまちづくり住民懇談会のヒアリング ・市民懇談会での意見集約 ③ ふれあいのまちづくり事業の取り組みについて ④ グループワーク テーマ【具体的取り組み～具体的な活動内容について】
13	平成26年1月28日	① グループワーク テーマ【具体的な活動内容～アクションプランの落とし込みについて】
14	2月12日	① グループワーク テーマ【具体的な活動内容～アクションプランの落とし込みについて】
15	2月25日	① グループワーク テーマ【具体的落とし込みシートの完成】 ② 他のグループの取り組み状況について ③ 基本理念の決定について ④ 成果品の構成について
—	3月7日	「策定委員会拡大プロジェクト会議」として開催 ① 計画書内容について（位置づけ・課題・体系・取り組み） ② 第三次西東京市地域福祉活動計画の推進体制について
16	3月12日	① 成果品の確認について ② 第三次西東京市地域福祉活動計画の推進体制について
17	3月25日	① 成果品の確認について ② 第三次西東京市地域福祉活動計画の推進体制について

●計画策定に関する市民アンケート・ヒアリングの実施

①イベント開催時における市民アンケートの実施

回	開催月日	イベント内容
1	11月11日	第5回西東京市「介護の日」
2	11月15日～16日	西東京市保谷障害者福祉センター文化祭
3	11月17日	つなげる・まちづくりサミット
4	11月24日	第3回こそだてフェスタ@西東京
5	12月7日	第5回NPO市民フェスティバル

②策定委員会委員による市民アンケートの実施

開催期間	実施内容
平成25年11月26日 ～12月13日	西東京市在住・在勤者を対象に、紙もしくは電子メールでアンケートを実施

③ふれまち住民懇談会でのヒアリング

回	開催月日	懇談会の名称・場所
1	12月7日	柳沢小校区ふれあいの会（柳沢小学校）
2	12月14日	ふれあいクラブ（谷戸第二小学校）
3	12月14日	あい芝久保（芝久保小学校）
4	12月14日	クリーンあけぼの（東小学校）

④市民懇談会

回	開催月日	場所・時間帯
1	12月5日	田無地区 田無総合福祉センター 第1会議室（14:30～16:00）
2	12月12日	保谷地区 保谷東分庁舎 会議室（18:30～20:00）

2) 委員からの一言

本計画の策定に携わった委員の、計画策定、及び今後の西東京市の地域福祉に関する想いを紹介します。(敬称略)

●熊田 博喜(委員長)

「地域福祉活動計画は誰のために策定するのか」「住民のためである」。その当たり前の事実を痛感し、また学んだ計画の策定でした。計画策定の過程で、自明のことを疑い、何が「地域づくり」に求められているのかに妥協なく取り組めたことは、本計画の一番大きな意義だったのではないかと考えます。これもまた自明のこととして語られていますが「策定は実行するためにある」ことも計画策定が終わっても住民の皆様と共に考えていながら実現していきたいと存じます。まずは計画が無事に完成したことを共に喜ぶと共に、改めて委員の皆様にお礼申し上げます。

●内田 日出子(副委員長)

ふれあいのまちづくり推進委員として「第三次西東京市地域福祉活動策定委員会」に参加させていただきました。月一回の会議の他に最終まとめには二回の臨時会が開催されました。多様な立場からの委員さんのご意見が、一つになる難しさを感じながら参加していました。それというのは委員の皆さんが住民主体の地域福祉活動するには、誰が見ても分かりやすい内容に、手に取ったときこれなら「自分もできる、やってみよう」とやる気が引き出せるような計画にしたいの思いから、活発な意見交換した結果なのです。一昔前なら地域の中で誰もがやっていたことなのですが、改めて取り上げていかなければならないほど、地域のつながりや助け合いが希薄になっていることを実感しました。東北大震災をきっかけによみがえった地域のつながりのあり方を、私自身も地域住民の一人として実践していきたいと思いました。

●陸名 朋子

高齢者を介護する家族の立場で参加いたしました。両親の介護で途方に暮れていた時、ケアマネや介護の先輩、家族会等、地域の人々に助けられました。恩返しの思いの1年でした。更なる地域力の充実を期待しています。

●田中 紀子

長かったようで短かった、短いようで長かった委員活動が終わります。今までの委員の中で一番充実した時間だったと思っています。(社協やコンサルのみなさまにはご迷惑おかけしました。)飾りではなく、きちんと実行していく活動計画ができたのではないかとと思っています。この計画から年後の評価の時に、当たり前の活動になっていることを祈っています。

●白倉 悦子

私が関わっている精神障害者の方たちや、ホームレスの方たちが、この福祉活動計画の活用によって地域住民として受け入れられ、隣人として笑顔で暮らせる街になることを、願ってやみません。

●高橋 睦

市民目線で生活を考え、様々な立場から本音で話し合う、そんな委員会であればという思いから、この委員会の初めに「楽しみにしている」と発言しました。その通り各々の委員が真剣に考え、予定を延長しても協議・発言する熱心な委員会でした。

●小松 真弓

子ども分野のNPOとして策定委員になり計画づくりに参加しました。安全で安心に暮らせるまちづくりをこれからも目指し、一市民として、近所の人たちと一緒に出来ることから、実行していきたいと思っています。

●岩崎 智之

委員全員が本気となり、^{かんかんがく}侃々諤々の議論が飛び交った活動計画策定でした。この熱い想いを成就させる為、計画実現に向け、私たち市民が、他人事ではなく、手と手を取り合い、主体的に動いて参ります。



●**畠山 昭裕**

“西東京市”の『地域福祉活動計画』は、地域の課題に取り組み、“社会”の秩序を守り、一人ひとりの生活を充実させた、“福祉”重視の考えかたです。策定委員も熱い心で討議・“協議”を行い、5年先を見据えた活動計画です。請う再“会”。

●**土方 孝一郎**

福祉＝しあわせ。この地域福祉活動計画が、市民の皆様にも最大限活用、生かされ、西東京市に住んでいる事に喜びを感じ、自慢でき、誇れる街になるよう願っています。一年間ありがとうございました。

●**成田 始**

市の代表という立場で委員会に参画させていただきました。策定した地域福祉活動計画と市が今年度策定した地域福祉計画等は、地域福祉を推進するために互いに補完、補強し両輪となって、計画実現に向け取り組むこととなります。計画を基に、地域のつながりを深め、さらに地域力を高めるために行政、社協、関係機関、さらに市民の皆様と協働して、西東京市に住んで良かったと思える「まちづくり」を進めるために、委員皆様をはじめとする熱い思いを活かしてまいります。

●**伊佐 英夫**

1年という短い期間で、第二次計画を踏まえ、より充実した取り組みを考えるのは、非常に厳しいものがありましたが、各委員の熱く語る思いに引っ張られ、参画させていただきました。これから5年、熱くこの計画を見守っていきたいと思います。

●**尾崎 百合香**

策定委員会は、毎回チャレンジングな展開でした。計画は、市民が積極的に意見を出し合い、事務局任せにしない姿勢で取り組んだ成果です。今後、住民の手作りによる計画が着実に進むことを期待します。

●**鶴澤 和子**

やっと計画が完成しました。しかし、実際はこれからがスタートです。だれも排除したり排除されない楽しいまちができたらいいなと思います。そして委員会を支えた社協の方々の力に感謝いたします。

●**田谷 晋太郎**

第三次西東京市地域福祉活動計画の策定に携わらせていただいたこの一年間を通じて、私たちの生活のすぐ近くに見落としがちな問題があることを知ることができました。計画を通じて少しでも多くの市民がこれらの問題に目を向け、行動を起こすことで、西東京市が誰にとっても長く住みたくなる町へと発展していく事を切に願います。貴重な経験をありがとうございました。

●**高梨 昭子**

奉仕団体の一員として、又社協の理事の立場から会議に参画させていただき、福祉活動への理解、地域住民との連携の重要性など再考の機会が得られた1年でした。協議の成果が福祉の充実化に反映されるよう期待します。

●**三輪 秀民**

今回の計画策定は私が経験したこともない破天荒なものであった。委員と社協職員による全員参加の意見の応酬で、さぞかし事務局はとりまとめに苦労したことだろう。熱い想いでまとまった計画だけに市民への広がりを期待したい。

7. 資料編

1) 市内の統計データ等

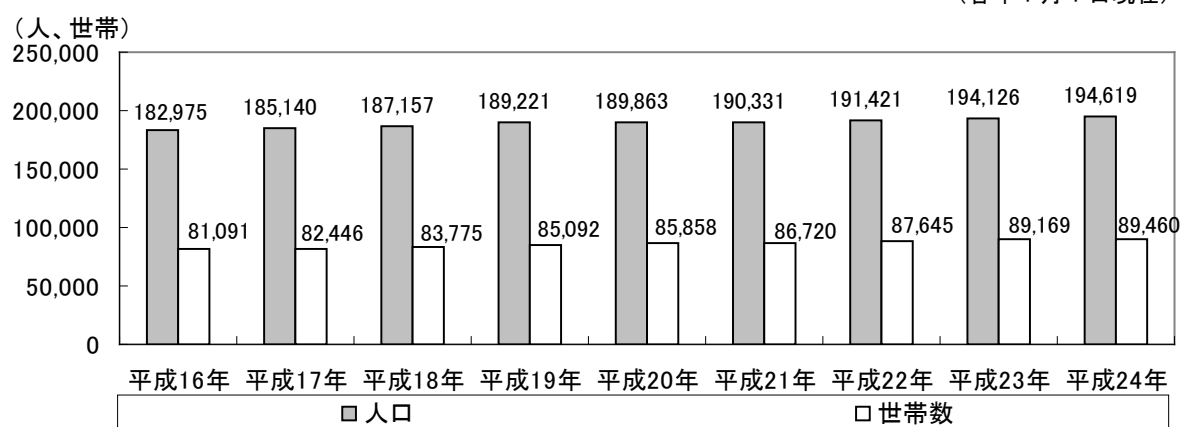
・第三次西東京市地域福祉活動計画（第6回）策定委員会基礎資料 （※抜粋）

●人口動態

人口は、平成16年以降微増傾向にあり、平成24年時点では194,619人となっています。また、世帯数も平成16年以降増加しており、平成24年時点で89,460世帯となっています。

西東京市の人口と世帯数の推移

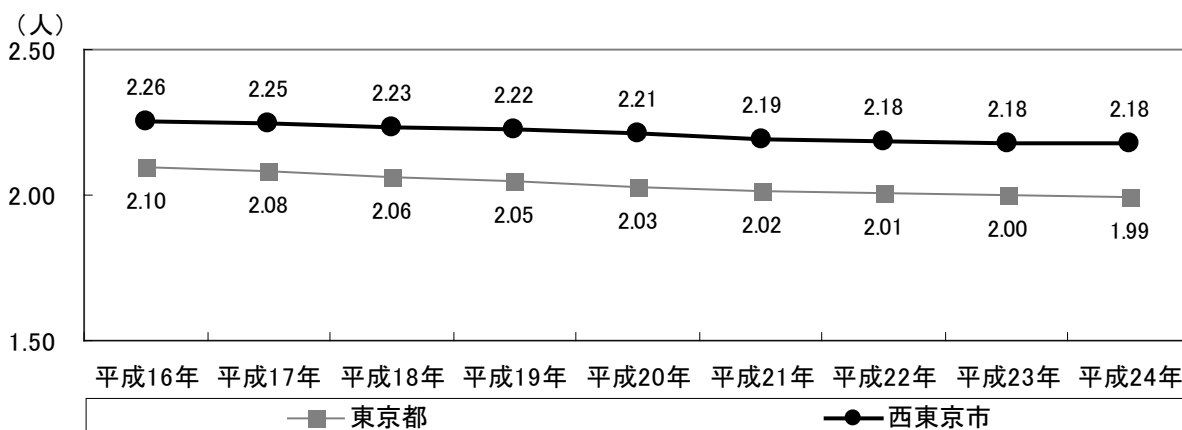
（各年1月1日現在）



資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口

1世帯あたり人員を見ると、平成24年時点で2.18人となっており、東京都の1.99人を上回っていますが、近年減少傾向にあります。

1世帯あたり人員の推移（東京都・西東京市）

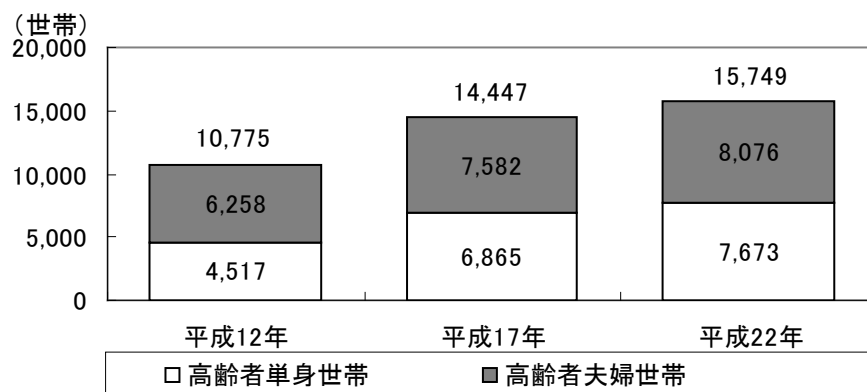


資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口

●高齢者のみ世帯の状況

高齢者のみ世帯は、平成 12 年から平成 17 年で約 1.3 倍と多くなっています。また、平成 22 年時点では、高齢者単身世帯が 7,673 世帯、高齢者夫婦世帯が 8,076 世帯となっています。

高齢者のみ世帯の推移

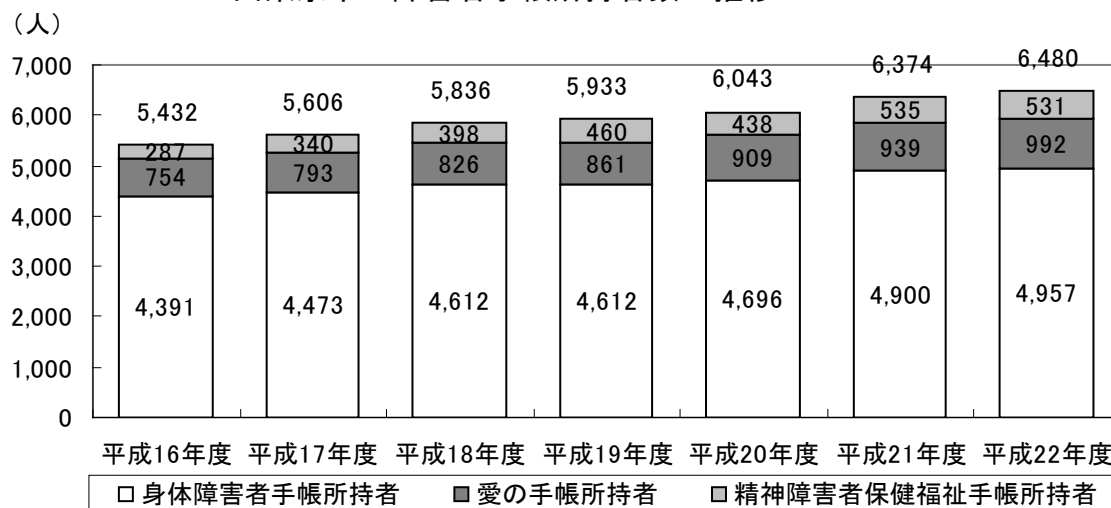


資料：国勢調査

●障害者手帳所持者数

障害者手帳所持者数の推移を見ると、身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者すべて、緩やかに増加傾向にあります。

西東京市の障害者手帳所持者数の推移



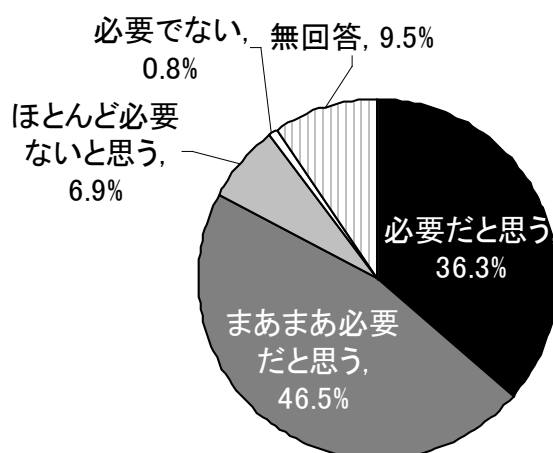
資料：障害福祉計画

・西東京市地域福祉に関するアンケート調査 結果報告書 (H25.5) (※概要)

●地域での暮らしについて

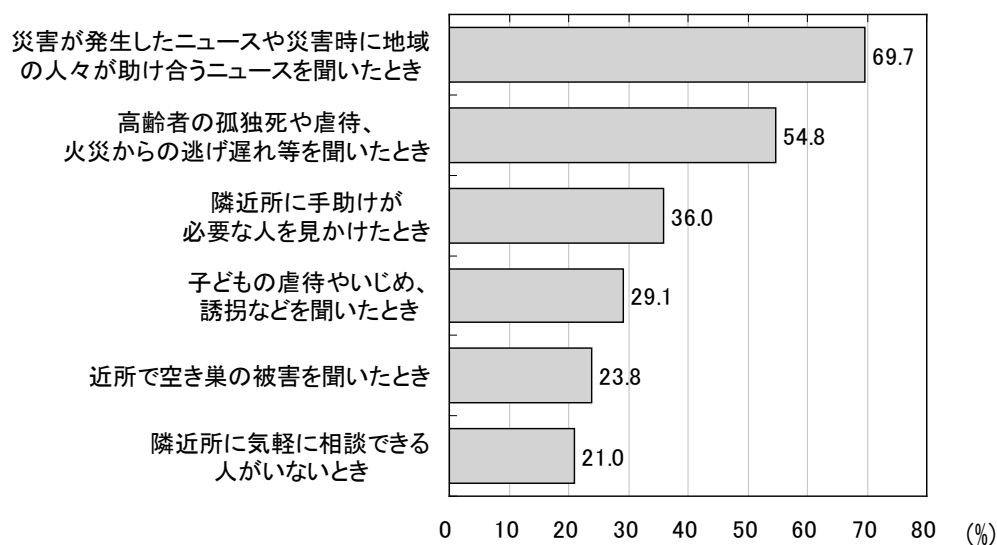
近所付き合いの必要性は、「必要だと思う」「まあまあ必要だと思う」が全体の8割以上と高くなっています。近所付き合いを必要と感じるときは、「災害時」や「孤独死」など緊急度の高いときが5割以上と多くなっています。

「地域での人とのつきあいやかかわりが必要か」



(回答者数：1,321 人)

「どのような時に、地域とのかかわりの必要性を感じるか」(上位 6 位)



(回答者数：1,321 人)

２）イベント等でのアンケート結果

・第三次西東京市地域福祉活動計画（第12回）策定委員会基礎資料

●イベント開催時における市民アンケートの結果

イベントの際に、市民に「重要だと思う基本目標」とそのポイントを調査しました。

基本目標	（１）イベント等でのアンケート集計より
1. “おたがいさま” が活きているまち ※キーワード 「 <u>必要なときに</u> 」	日常の挨拶（５）、日頃のつきあい（５）、助け合い（３） 預けられる、頼れるしくみ（３）、声かけ（２）、見守りのしくみ（２） つながりづくり（２）、保育システムの充実（２）、多様な人・組織の参加（２） 支え合いの意識、ゆるする気持ち、お互い様、サポートのしくみ、必要なサポートの把握、相談の機会、 目標の妥当性、協働での見守り活動の推進、市民主体の活動体制整備、ふれまちなりの推進
2. みんな笑顔でくら せるまち ※キーワード 「 <u>（理解する）</u> 」	日常の挨拶（５）、活動機会の充実（３）、つながりづくり（２） 会話、ふれまちなりの推進、集まる「場」、預けられる、頼れるしくみ、助け合い、必要なサポートの把握、 世代間交流の充実、目標の妥当性、おせっかいな人、認め合う機会の充実、誰でも参加できる活動
3. 「一歩前へ」を後 押しできる情報 があるまち ※キーワード 「 <u>情報</u> 」	情報発信の方法（８）、情報の場、情報発信する人（５）、必要な情報があるということ（２）、活動機会 の充実（２） 助け合い、一緒に行ってくれる人、会話、男性の地域進出、協働で情報発信、気軽な情報の「場」
4. 家族のようなつな がりのあるまち ※キーワード 「 <u>つながり</u> 」	居場所づくり（６）、集まる「場」（４）、つながりづくり（４） 声かけ（３）、活動機会の充実（３）、立ち寄れる「場」（３） 日常の挨拶（２）、遊べる「場」、機会（２）、傾聴ボランティア（２） イベントでの役割発揮（２） 情報の場、情報発信する人、信頼しあえる、お年寄りの孤立防止、つながりの維持、「街ごと家族」の広 報、世代間交流の充実、情報発信の方法、見守りのしくみ、日頃のつきあい、集まるための工夫
5. 一人ひとりがイキ イキできるまち ～輝こうスキップしよう！～ ※キーワード 「 <u>ひとりひとり</u> 」	発表する場（３）、活動で各自の役割発揮（２）、趣味の活かせる機会（２） 男性の進出、世代間交流の充実、個性を活かす、自由に活動できる、出番づくり、居場所づくり
その他	困っていることがない（４）、計画の推進体制（２） 声かけ、つながりづくり、新しい人の確保、目標の文言、活動の主体、目標の妥当性、目標同士の整合性、 情報発信、施設の利用を便利に、世代間交流の充実、保育システムの充実、各種活動団体の目的見直し

（※（ ）内の数値は、各ポイントに回答した人数です。）

●委員による市民へのアンケート結果

(※日時・イベント内容等は「6. 策定の経緯」(16p～)を参照ください)

基本目標	(2) 委員よりご協力いただいたアンケート集計より
1. “おたがいさま”が 活きているまち ※キーワード <u>「必要なときに」</u>	日常の挨拶(5)、ほどよい距離感(5)、清掃活動の心がけ(4)、声かけ(4)、交流の場・機会(4) 役割づくりの工夫(3)、公共の場での情報発信(2)、個人の教育・モラル・ルール(2)、助けの手(2) 見守りのしくみ(2)、おしゃべり(2)、預けられる、頼れるしくみづくり(2) 友好の場づくり、市民主体の活動体制の整備、回覧板の作成、市民主体の活動充実、ボランティア活動、 助け合いの体制整備、災害時の対策、自治会への参加、活動機会の充実、買い物支援、思いやりの気持ち、 認め合うこと、個人のライフステージ、お互いさまの気持ち、立ち寄れる「場」、外に出るための支援、 自治会の復元、日頃のつきあい、連絡の手段、自治会の活性化
2. みんな笑顔でくら せるまち ※キーワード <u>「(理解する)」</u>	日常の挨拶(14)、声かけ(5)、活動機会の充実(3)、個人の教育・モラル・ルール(3)、イベント への新たなアイディア(2)、災害時の対策(2) 清掃活動の心がけ、立ち寄れる「場」、家庭での心がけ、友好の場づくり、協働での声かけ活動推進、 集まる「場」、多様な人・組織の参加、子育てに関する交流の場、ふれあう「場」、市民主体の活動体制整 備、縦割りの見直し、元気に暮らす、不安をなくす努力、自治会、認め合うこと、寛容な心、公民館の活 用、共通な趣味・話題、ボランティア活動、預けられる、頼れるしくみづくり、おせっかいな人、思いや りの気持ち、近隣との交流、交流の場・機会、ほどよい距離感
3. 「一歩前へ」を後 押しできる情報 があるまち ※キーワード <u>「情報」</u>	既存の発信媒体の工夫(7)、発信内容の工夫(6)、情報の場・情報発信する人(6)、発信媒体の刷新・ 充実(5)、情報発信の方法(3)、情報の速度・頻度(3)、情報の利用(3)、交流の場・機会(2)、 発表する場(2)、回覧板の作成(2) 公共の場での情報発信、集まる「場」、ヘルプ課、声かけ、継続的な学習による啓発、情報発信において 必要な配慮、情報媒体のあり方検討、情報交換、必要な情報があるということ、出番づくり、一歩前へ出 た人への対応、様々な出方を認める、気楽な情報の場
4. 家族のようなつな がりのあるまち ※キーワード <u>「つながり」</u>	つながりづくり(3)、世代間の交流の場(3)、ほどよい距離感(3)、活動機会の充実(3)、日常の挨拶 (3)、声かけ(2)、遊べる「場」、機会(2)、近隣との交流(2)、組織の大きさ、タイプの再検討(2)、 見守りのしくみ(2)、相談できる場、機会(2) 情報の場・情報発信する人、集まる「場」、おせっかいな人、交流の場・機会、友好の場づくり、居場所 づくり、立ち寄れる「場」、誰もが使える「場」、若者向けの「場」、協働での場づくり、公民館の活用、 多様な人・組織の参加、一人暮らしの人への配慮、出られるような雰囲気づくり、安心して暮らせるまち、 多様な人・組織の声、同年代での交流、イベントへの新たなアイディア
5. 一人ひとりがイキ イキできるまち ～輝こうスキップしよう!～ ※キーワード <u>「ひとりひとり」</u>	趣味による交流(4)、発表する場(4)、声かけ(3)、日常の挨拶(3)、世代間交流の場(2)、イベ ントへの新たなアイディア(2)、個人のライフステージ(2)、見守りのしくみ(2)、出番づくり(2)、 組織の大きさ、タイプ再検討(2) 活動している人へのご褒美、自分を好きになる、継続的な学習による啓発、活動機会の充実、助け合いの 姿勢、生活の余裕がない、預けられる、頼れるしくみづくり、集まる「場」の情報収集、協働でのまちづ くり、自治会の活性化、若者向けの「場」、個人の目標、個人の教育・モラル・ルール、活動への参加、 認め合うこと、直売所、バス運行ルート、認定のしくみ、一歩前に出た人への対応、交流の場・機会
その他	目標の妥当性、活動グループの工夫、発表する場、見守りのしくみ、一人暮らしの人への配慮、担い手の 育成、団体のネットワークづくり

(※()内の数値は、各ポイントに回答した人数です。)

●市民懇談会における意見集約結果

市民懇談会（計2回）において、参加者同士で「基本目標」・「具体的取り組み」について意見交換を行い、さらに重要だと思う（もしくは自身が取り組みそうな）具体的な「アクションプラン」を出し合いました。

基本目標	具体的取り組み	アクションプラン
1. “おたがいさま” が活きているまち ※キーワード 「 <u>必要なときに</u> 」	(1) 楽しく教えたり、教わったりするきっかけをつくる (2) 世代間の交流のきっかけをつくる (3) 困った時に、自ら得た情報で動く	・自分が経験した子育てのことを若い人に伝えることできっかけをつくる ・地域の中にいる得意分野をもった人が活躍できる場・方法をつくる ・まずはあいさつから。知らない人でもあいさつをしよう ・普段あまりつながりがないように思っていた近所でも、近所の人々が救急車で運ばれたということがあり、そのうちの子どもと食事のことや、病院のことなど数人が関わることができた。何かきっかけがあれば、つながれるという経験をした
2. みんな笑顔でくらせるまち ※「 <u>理解する</u> 」	(1) 一緒に活動できる機会をつくる (2) 協働でとりくむ	・認知症サポーターに登録した市民との協働 ・“居場所” になる“場” に関する情報を集める ・自治会などを生かす。そこから広がりをつくる ・市民で活動をしている人たちが、お互い関われる関係がいいと思う(意識を変える必要がある)
3. 「一歩前へ」を後押しできる情報があるまち ※「 <u>情報</u> 」	(1) 情報が自然と入ってくるしくみづくり	・HP を利用して居場所づくり ・できる限り「発信」をする（やり方も考慮しながら） ・隣近所での情報を広げていく(掲示板などを活用する) ・地域の「物知りさん」に話を聞く ・「つながり」をきっかけに情報がはいつてくるようになる(例：学校の役員やサービスを利用している人などの口コミ) ・いろいろな人がいろいろなことをやっている。もう少し連携がとれれば、すきまが生まれるのではないかと思う。その核となるところがあればいいと思う
4. 家族のようなつながりのあるまち ※「 <u>つながり</u> 」	(1) 誰もが立ち寄れる雰囲気のある居場所をつくる (2) お世話焼きさんグループをつくる	・隣近所で声をかけあえる人をふやす ・世話を焼く ・長いスパンで関われるようなしくみ ・つながりをつくる(子ども～高齢者) ・お世話焼きさんグループをつくるには、リーダーが必要 ・近所の見守りが自然とできていれば「ささえあいネットワーク」のようなことはできる
5. 一人ひとりがイキイキできるまち ～輝こうスキップしよう！～ ※「 <u>ひとりひとり</u> 」	(1) 人が認められる場をつくる	・伝統文化を継承する機会(わらじ作り、たこ…) ・学校をまきこんで地域との交流の場をつくる

3) 第三次西東京市地域福祉活動計画策定委員会委員名簿

氏 名		選出区分・所属等
1	陸名 朋子 りく な とも こ	当事者〔介護者 家族〕
2	田中 紀子 た な か の り こ	当事者〔子育て分野・西東京子育てコム〕
3	白倉 悦子 しらくら えつ こ	福祉施設〔精神障がい者施設・NPO 法人ハートフィールド(グループホームわんど)〕
4	高橋 睦 たかはし むつ み	福祉施設〔社会福祉法人東京老人ホーム 施設統括長〕
5	小松 真弓 こまつ まゆ み	NPO法人〔NPO 法人子どもアミーゴ西東京 事務局長〕
6	岩崎 智之 いわさき ともゆき	関係団体〔おとなりさん。小金井公園(デ・イ・ビス)・ほっとネット推進員〕
7	内田 日出子 うちだ ひ で こ	関係団体〔ふれあいのまちづくり推進委員会委員長〕
8	畠山 昭裕 はたけやま あきひろ	関係団体〔民生委員・児童委員協議会 障がい福祉部〕
9	土方 孝一郎 ひじかた こういちろう	関係団体〔民生委員・児童委員協議会 第5地区会長〕
10	成田 始 なり た はじめ	関係機関〔西東京市福祉部生活福祉課長〕
11	伊佐 英夫 い さ ひで お	関係機関〔西東京市教育部柳沢公民館〕
12	尾崎 百合香 お ざ き ゆ り か	関係機関〔東京都社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉担当統括主任〕
13	熊田 博喜 く ま だ ひろ き	学識経験者〔武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科准教授〕
14	鵜澤 和子 う ざ わ かず こ	市民公募〔ふれまちサポーター〕
15	田谷 晋太郎 た や しんたろう	市民公募〔子育て支援団体等協働活動者〕
16	高梨 昭子 たかなし あきこ	西東京市社会福祉協議会理事〔本会役員・国際ソロプチミスト東京一西〕
17	三輪 秀民 み わ ひでたみ	学識経験者〔本会評議員・日本社会事業大学非常勤講師〕

4) これだけは知っておこう！ 西東京市における福祉関連のことば



あ

・「NPO」(17p)

ボランティア団体や市民活動団体等、民間の営利を目的としない団体（Nonprofit Organization）の総称。NPO 法人は、特定非営利活動促進法（通称：NPO 法）に基づき、「特定非営利活動法人」という法人格を得て活動している。

・「NPO市民フェスティバル」(17p)

西東京市の市民活動団体・NPO 法人がその活動内容を広く市民に紹介する場として、市民活動団体・NPO 法人を中心に実行委員会を組織し、西東京市市民協働推進センターゆめこらぼと共催で実施している。

か

・「こそだてフェスタ@西東京」(17p)

「子育て」をキーワードに、市内で活動する団体やサークルが集まり、乳幼児とその家族、これから子育てをする方などを対象にした親子で楽しめるイベント。

さ

・「自助・共助・公助」(1p)

「自助」は、個人や家庭による自助努力、「共助」は、地域社会における相互扶助（隣近所や友人・知人とお互いに助け合う）や民間非営利活動・事業、ボランティア、住民活動、社会福祉法人などによる支え（「地域ぐるみ」福祉活動に参加して地域で助け合う）、「公助」は、公的な制度としての福祉・保健・医療その他の関連する施策に基づく行政等が主体となるサービス供給のこと。

・「社会福祉協議会」(1p)

地域福祉の推進を目的として、市民をはじめ地域社会のさまざまな立場の方々が参画する、社会福祉法に定められた民間の非営利組織。また「社会福祉協議会」を略して「社協（しゃきょう）」と言う。

・「小地域」(10p)

隣近所などの身近な範囲の地域。顔の見える交流ができる範囲。

た

・地域福祉コーディネーター

地域の課題や困りごとを地域の皆さんと一緒に解決する調整役のことで、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格をもち、地域福祉活動に従事した経験をもつ専門家が担当する。

・「つなげる・まちづくりサミット」(17p)

ほっとネットやほっとネット推進員(29p 参照)・地域福祉コーディネーターの活動を広く知ってもらい、加えて地域の活動事例を通して、市民自身が気づきを(地域への)関わりに変えるために自分たちができることを、一緒に語りあい、考える機会とすることを目的に開催されたイベント。

な

・「西東京市『介護の日』」(17p)

高齢者人口が増加を続ける中、社会全体で介護について理解を深め、さらに「介護」の社会的価値を高めていくことが重要であることから、その啓発を重点的に実施するため実施しているイベント。国により介護の日に制定されている11月11日に開催。

・「西東京市基本構想・基本計画」(※第2次)(1p)

基本構想は、地方自治法第2条第4項の規定に基づき、概ね10年間程度の長期的な視野に立ったまちづくりのビジョンを示したものであり、基本計画は、基本構想で示したビジョンを実現するための施策の体系を示した中期計画となっている。

・「西東京市健康づくり推進プラン」(1p)

国の「健康日本21(第2次)」及び「健やか親子21」の地方計画であり、市民が主体的に取り組む健康づくりを総合的に推進するための指針。

・「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(※第5期)(1p)

高齢者保健福祉計画と介護保険事業計画を一体的に策定した計画で、介護保険事業計画は高齢者保健福祉計画に包含されるものとなっている。高齢者保健福祉計画は、「老人福祉法」に基づく市町村老人福祉計画として、介護保険事業計画は、「介護保険法」に基づく市町村介護保険事業計画として策定する計画となっている。

・「西東京市子育て・子育てワイワイプラン(子育て支援計画)」(※後期)(1p)

「西東京市子育て・子育てワイワイプラン」と「西東京市次世代育成支援行動計画」の基本理念や基本方針を引き継ぎ、市が力を注いできた青少年支援事業と子どもの権利に関する条例制定における調査や議論、国から求められ次世代育成支援後期行動計画策定のために実施した調査と前期計画の実施調査を踏まえて作り出した計画。

・「西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ」

市民活動や協働によるまちづくりの拠点として、市民活動を幅広くサポートし、さまざまな協働の形を生み出していくことを目的として設立されたセンター。

・「西東京市障害者基本計画」(1p)

障害者基本法に基づく障害者のための施策に関する基本的な事項を定める中長期の計画。

- ・「西東京市障害者福祉計画」(※第3期)(1p)

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等の確保に関する計画。

- ・「西東京市地域福祉計画」(※第3期)(1p)

地域における福祉施策を総合的に推進していくための計画であり、社会福祉法第107条に基づく、市町村地域福祉計画として策定した計画。

- ・「西東京市保谷障害者福祉センター文化祭」(17p)

西東京市保谷障害者福祉センター(在宅障害者の自立と社会参加の促進を目的とした事業を実施しているセンター)が、利用者の日ごろの活動を家族や市民に知ってもらう機会として実施している催し。

は

- ・「ファミリー・サポート・センター」(15p)

地域での子育て支援を目的として、子どもを預けたい方(ファミリー会員)と子どもを預かりたい方(サポート会員)がお互いに会員となり、会員間で「子どもを預かる」という有償の援助活動。

- ・「ふれあいのまちづくり」(ふれあいのまちづくり事業・ふれあいのまちづくり住民懇談会)(2p)

西東京市社会福祉協議会が進めている、小学校通学区域を中心に住民等による地域に即した活動を行うもの。(略称：ふれまち)

- ・「ほっとネット」(ほっとするまちネットワークシステム)(2p)

西東京市独自の取り組みで、西東京市民の誰もが住んでいてほっとできる地域になるよう、市民や地域の活動団体、ほっとネット推進員などさまざまな人やサービス、機関を「地域福祉コーディネーター」(地域の課題や困りごとを地域の皆さんと一緒に解決する調整役のことで、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格をもち、地域福祉活動に従事した経験をもつ専門家が担当)がつなぎ、地域の課題を解決していくためのネットワーク。

- ・「ほっとネット推進員」(2p)

地域の課題を発見し、地域福祉コーディネーターへつなぎ、解決のために協力してくださる市民の方のことで、登録研修を受けた方ならどなたでもなることができる。これらの地域の中での活動以外に、情報紙づくりや地域での居場所づくりなどにも取り組んでいる。

ま

- ・「民生委員・児童委員」(2p)

「民生委員法」、「児童福祉法」によって設置された地域住民を支援するボランティア。地域の相談相手として、暮らしの支援、高齢者・障害者の支援を行う。行政機関と協働し、問題が起こったときは速やかに連絡を取り合うなど、地域のパイプ役として活動している。

第三次西東京市地域福祉活動計画

平成 26 年 4 月発行

編集・発行 社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会
〒202-0013 西東京市中町 1-6-8 保谷東分庁舎内
電話 042-438-3774 FAX 042-438-3772

